




【2. 回転部の分解方法】


2-2S2-1 オイル抜出

	作業工程 メカニカルシール室の上部或いは下部のプラグをモンキーレンチで外してください。内部にオイルが入っているため(移送液が混入している場合があります)、洩れないようご注意ください。	使用工具 ・モンキーレンチ
	ポイント	



2-2S2-2 オイル抜出

	作業工程 プラグを抜いた箇所から内容液(通常はオイル)を抜き出してください。抜き出したオイルは適切に処理してください。	使用工具
	ポイント 抜けにくい場合は逆側のプラグも外してください。	

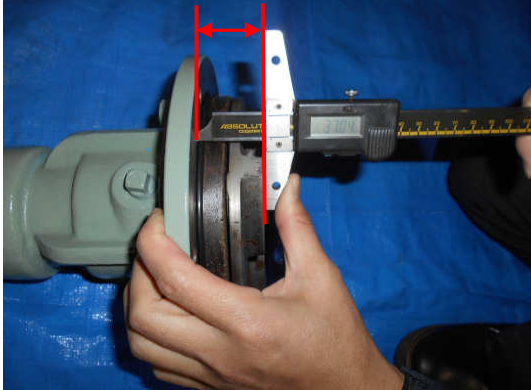
2-2S2-3 プーリー又はカップリングの取外し

	作業工程 プーリー又はカップリングのセットボルトを六角レンチ(6mm)で全て緩めてください。(1~2か所あります。)	使用工具 ・六角レンチ(6mm)
	ポイント	

2-2S2-4 プーリー又はカップリングの取外し

	作業工程 傷がつかないようにプーリーの内側をプラスチックハンマーで慎重に叩きプーリーを取り外してください。 ※金ハンマーを使用するとプーリーが破損することがありますので使用しないでください。 取り外したプーリーは清掃し安全な場所に保管しておいてください。	使用工具 ・プラスチックハンマー ・プーラー、プーラーを締めるスパナ)
	ポイント プラスチックハンマーで叩いても外れない場合は、プーラーをご使用ください。	

2-2S2-5 クリアランスの確認



作業工程
 デプスでインペラーの水かきから、ケーシングカバーのケーシングとの接地面までの長さを測ります(羽根の枚数分)。一番低いところを基準とし別紙のクリアランス表にてクリアランスを確認してください。著しく摩耗がみられる場合は、インペラーを新品へ交換してください。

使用工具
 ・デプス

ポイント

2-2S2-6 インペラーの取外し



作業工程
 シャフトが回らないように、キーにモンキーレンチをかけてください。バイス等で固定できる場合はご使用ください。

使用工具
 ・モンキーレンチ
 ・バイス

ポイント
 シャフトに傷がつかないようにご注意ください。

2-2S2-7 インペラーの取外し



作業工程
 回転部を抑えながらスパナ(27)でナットを取外してください。

使用工具
 ・スパナ(27)

ポイント

2-2S2-8 インペラーの取外し



作業工程
 破損しないようインペラーの水かき部分を慎重にプラスチックハンマーで叩き、インペラーを反時計回りにまわし外して下さい。外したインペラーは清掃し、安全な場所に保管しておいてください。

使用工具
 ・プラスチックハンマー
 ・ベルトチェーン
 ・専用工具

ポイント
 プラスチックハンマーで外れない場合は、ベルトチェーンを使用するか、右図の専用工具もごさいますのでお問い合わせください。



2-2S2-9 ベアリングケースの固定



作業工程
木片等ですきまを空け、インペラー側を下にして固定してください。

使用工具
・木片等

ポイント

2-2S2-10 ベアリングケースカバーの取外し



作業工程
ベアリングケースカバーのボルト×3をスパナ(10)で取り外してください。
取り外したベアリングケースカバーは、清掃し安全な場所に保管してください。

使用工具
・スパナ(10)

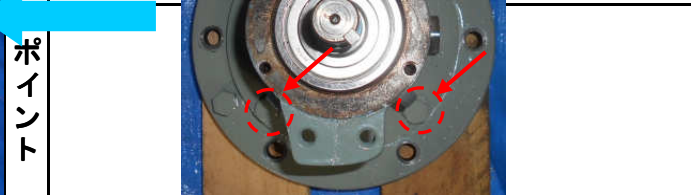
ポイント

2-2S2-11 ベアリングケースの取外し



作業工程
ベアリングケースのボルト×4をスパナ(17)で外してください。

使用工具
スパナ(17)



2-2S2-12 ベアリングケースの取外し




作業工程
慎重にベアリングケースを持ち上げ、取外してください。

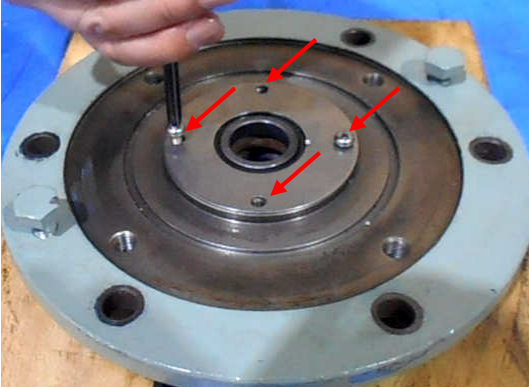
使用工具
(・プラスチックハンマー)

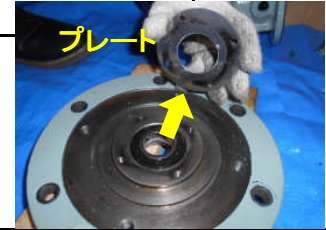
ポイント
持ち上げても外れない場合は、プラスチックハンマー等でケーシングカバーを軽く叩き取り外してください。

2-2S2-13 ケーシングカバーのOリングの取外し


	作業工程 取り外したケーシングカバーから、Oリングを取り外してください(赤矢印)。	使用工具 (none listed)
	ポイント Oリングは基本的に消耗品として交換を推奨しています。	

2-2S2-14 メカニカルシールの取外し(一次側固定環)

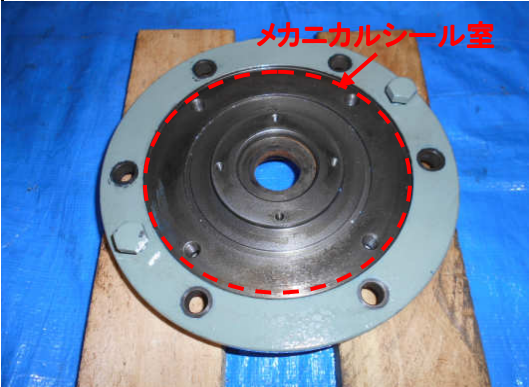
	作業工程 左図の赤矢印のビス×4本をプラスドライバーで取り外します。同時にプレートを取り外してください。	使用工具 ・プラスドライバー ・プラスチックハンマー
	ポイント ビスのネジ穴が削れないように、プラスドライバーを合わせた際にプラスチックハンマーで数回ドライバーを叩いてから回すと、山も削れずスムーズです。	



2-2S2-15 メカニカルシールの取外し(一次側固定環)

	作業工程 棒状の工具を使用し、てこの原理で一次側固定環を取り外します。メカニカルシールは精密機械の為、分解した後は必ず新品と取り換えてください。	使用工具 ・棒状の工具等
	ポイント ケーシングカバーの裏から棒状の工具で軽く叩いて外すことも可能です。	

2-2S2-16 ケーシングカバーの清掃

	作業工程 ケーシングカバーを清掃し、安全な場所に保管してください。	使用工具 ・ブラシ等
	ポイント 特にメカニカルシール室部分(左図)ケーシングとの接地部分(右図)を重点的に清掃してください。※この部分に汚れや異物が入ると早期故障の原因となる場合があります。	



2-2S2-17 ベ어링ケースの固定

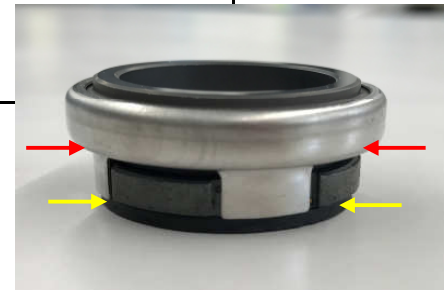


作業工程	木片等を使用しベ어링ケースを左図のように固定します。	使用工具 ・木片等
	ポイント	

2-2S2-18 メカニカルシールの取外し(一次側回転環)



作業工程	マイナスドライバー等の細長い棒状の工具を使用し、一次側回転環をてこの原理で上へ押し上げ、取り外してください。	使用工具 ・棒状の工具 × 2
	ポイント 右図の黄色矢印のゴム部分にひっかけ押し上げてください。やりづらい場合は赤矢印の部分にひっかけてください。	



2-2S2-19 スプリングの取外し



作業工程	スプリングを取り外します。	使用工具
	ポイント	

2-2S2-20 テフロンスペーサーの取外し



作業工程	テフロンスペーサーを取り外します。	使用工具
	ポイント	

2-2S2-21 メカニカルシールの取外し(二次側回転環)



作業工程
2-2S2-18同様に、棒状の工具でてこの原理を利用し、二次側回転環を上へ押し上げ、取り外してください。

使用工具
・棒状の工具
× 2

ポイント
右図の赤矢印のゴム部分にひっかけ、押し上げてください。
外れにくい場合は、そのまま2-2S-22の作業へ以降してください。



2-2S2-22 シャフトの取外し



作業工程
ベアリングケースを左図のように横に置き、シャフトをプラスチックハンマーで叩き、取り外します。

使用工具
・プラスチックハンマー

ポイント
シャフトが勢いよく飛び出す恐れがあるのでご注意ください。

2-2S2-23 ベアリングの取外し



作業工程
ベアリングを回しながら、ハンマーでベアリングを叩いて取り外します。大きいベアリングから取り外してください。シャフト先端に木片やウエスを敷き、傷がつかないようにご注意ください。

使用工具
・ハンマー
・木片、ウエス等
(・プーラー)

ポイント
プーラーや油圧プレスを使用するとスムーズです。
また、シャフトのネジ部が損傷するとインペラーが取り付けできなくなるのでご注意ください。



2-2S2-24 シャフトの清掃



作業工程
ウエス等を使いシャフトを清掃します。


使用工具
・ウエス等

ポイント
特にメカニカルシールが挿入される部分とベアリング挿入部分を重点的に清掃してください。シャフトに著しい汚れや摩耗、腐食がある場合、早期故障の原因となる場合があります。著しい摩耗、腐食がみられる場合は新品のシャフトへ交換してください。

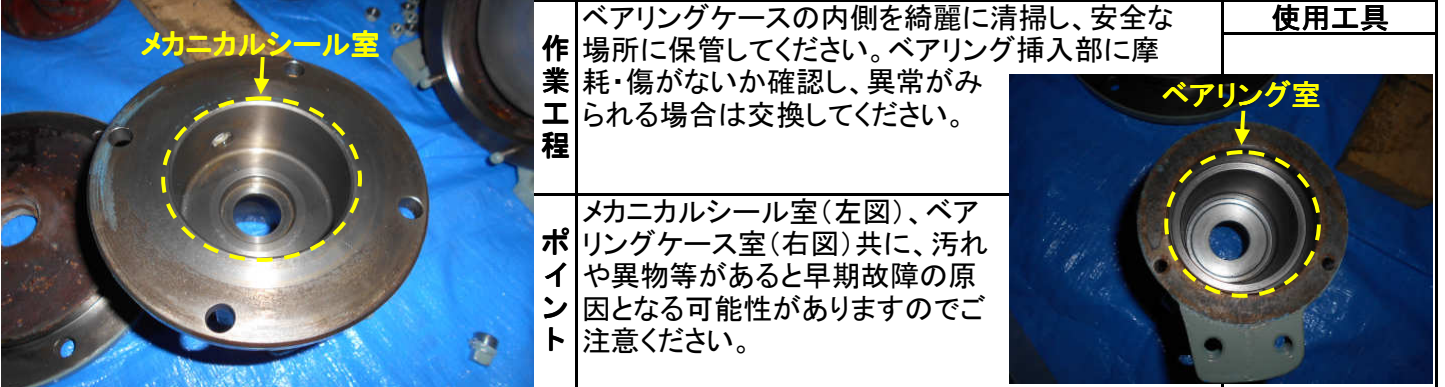
2-2S2-25 メカニカルシールの取外し(二次側固定環)

	作業工程 ベアリングケースを左図のように置き、棒状の工具等で一次側固定環を叩き取り外します。	使用工具 ・棒状の工具等
	ポイント 	

2-2S2-26 点検窓の取外し

	作業工程 スパナ(27)を使用し、点検窓を取り外して下さい。	使用工具 ・スパナ(27)
	ポイント	

2-2S2-27 ベアリングケースの清掃

	作業工程 ベアリングケースの内側を綺麗に清掃し、安全な場所に保管してください。ベアリング挿入部に摩耗・傷がないか確認し、異常がみられる場合は交換してください。	使用工具
	ポイント メカニカルシール室(左図)、ベアリングケース室(右図)共に、汚れや異物等があると早期故障の原因となる可能性がありますのでご注意ください。	

2-2S2-28 分解完了

No image	作業工程 分解した部品は再使用するものと破棄するものに分け、再使用するものは綺麗に清掃し安全な場所に保管してください。破棄する部品については適切に処理してください。	使用工具
	ポイント	